

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2000-75213(P2000-75213A)

【公開日】平成12年3月14日(2000.3.14)

【出願番号】特願平10-241946

【国際特許分類第7版】

G 0 2 B 21/20

A 6 1 B 19/00

【F I】

G 0 2 B 21/20

A 6 1 B 19/00 5 0 8

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月4日(2005.7.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

物体からの光を入射する单一の対物光学系とアフォーカル変倍光学系とを有し、さらに前記アフォーカル変倍光学系から出射されるアフォーカル光束を左右眼像として結像する左右一対の結像光学系と、前記左右眼像を観察者の左右眼にそれぞれ導く左右一対の接眼光学系とを有する手術用顕微鏡において、

スポット光を発光する発光手段と、前記発光手段により生じるスポット光を前記アフォーカル変倍光学系と前記結像光学系の間に前記アフォーカル光束中に導く導光手段とを設けたことを特徴とする手術用顕微鏡。

【請求項2】

物体からの光を入射する单一の対物光学系とアフォーカル変倍光学系とを有し、さらに前記アフォーカル変倍光学系から出射されるアフォーカル光束を左右眼像として結像する左右一対の結像光学系と、前記左右眼像を観察者の左右眼にそれぞれ導く左右一対の接眼光学系とを有する手術用顕微鏡において、

スポット光をそれぞれ発光する2つの発光手段と、前記各発光手段により生じるスポット光を前記アフォーカル変倍光学系と前記結像光学系の間の前記アフォーカル光束中にそれぞれ導く導光手段を設けたことを特徴とする手術用顕微鏡。

【請求項3】

物体からの光を入射する单一の対物光学系と单一のアフォーカル変倍光学系とを有し、該单一のアフォーカル変倍光学系から出射されるアフォーカル光束を左右眼像として結像する左右一対の結像光学系と前記左右眼像を観察者の左右眼にそれぞれ導く左右一対の接眼光学系とを有する手術用顕微鏡において、

スポット光を発光する発光手段と、前記発光手段により生じるスポット光を前記单一のアフォーカル変倍光学系と前記結像光学系の間の前記アフォーカル光束中に導く導光手段とを有したことを特徴とする手術用顕微鏡。

【請求項4】

少なくとも2つ以上の発光手段を有し、前記各発光手段により生じるそれぞれのスポット光を前記单一のアフォーカル変倍光学系と前記結像光学系の間の前記アフォーカル光束中にそれぞれ導く導光手段を有したことを特徴とする請求項3に記載の手術用顕微鏡。

【請求項 5】

前記導光手段が左右観察光軸を含む平面に対して略対称な位置に配置されることを特徴とする請求項4に記載の手術用顕微鏡。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

【課題を解決するための手段及び作用】

(手段)

本発明は、物体からの光を入射する単一の対物光学系とアフォーカル変倍光学系とを有し、さらに前記アフォーカル変倍光学系から出射されるアフォーカル光束を左右眼像として結像する左右一対の結像光学系と、前記左右眼像を観察者の左右眼にそれぞれ導く左右一対の接眼光学系とを有する手術用顕微鏡において、スポット光を発光する発光手段と、前記発光手段により生じるスポット光を前記アフォーカル変倍光学系と前記結像光学系の間に前記アフォーカル光束中に導く導光手段を設けたことを特徴とするものである。

また、本発明は、物体からの光を入射する単一の対物光学系とアフォーカル変倍光学系とを有し、さらに前記アフォーカル変倍光学系から出射されるアフォーカル光束を左右眼像として結像する左右一対の結像光学系と、前記左右眼像を観察者の左右眼にそれぞれ導く左右一対の接眼光学系とを有する手術用顕微鏡において、スポット光をそれぞれ発光する2つの発光手段と、前記各発光手段により生じるスポット光を前記アフォーカル変倍光学系と前記結像光学系の間の前記アフォーカル光束中にそれぞれ導く導光手段を設けたことを特徴とするものである。

さらに、本発明は、物体からの光を入射する単一の対物光学系と単一のアフォーカル変倍光学系とを有し、該単一のアフォーカル変倍光学系から出射されるアフォーカル光束を左右眼像として結像する左右一対の結像光学系と前記左右眼像を観察者の左右眼にそれぞれ導く左右一対の接眼光学系とを有する手術用顕微鏡において、スポット光を発光する発光手段と、該発光手段により生じるスポット光を前記単一のアフォーカル変倍光学系と前記結像光学系の間の前記アフォーカル光束中に導く導光手段とを有したことを特徴とするものである。